

■スペイン：スペイン電事連、電気料金の6割は電気事業以外のコストと主張

2014年12月11日付の報道によると、スペイン電気事業連合会（UNESA）のモンテス会長は、スペインの電気料金には多くのその他費用が含まれているため、欧州の中でも高い料金になっている。発電、送電、配電、小売コストだけなら、現行の電気料金水準の39%にとどまると語った。残りの61%は、従来の規制料金の下で発生した赤字の解消費用や再エネ賦課金などである。会長は、これらの要素を除けば、スペインの電気料金は欧州の中でも安くなると主張した。